

## 活力ある地域づくりに貢献

大洲市地域づくり表彰式が1月8日(日)、市役所で開催され2団体が表彰されました。

この表彰は、市内において豊かで住みよい地域づくりなどに取り組み、貢献のあった個人または団体に贈られています。

あいさつで清水市長は「全国的に後継者問題があるなかで、これまで傳承してきた努力をたたえたい。今後も伝統繼承に重要な人材育成に尽力してほしい」と述べました。

受賞者を代表して栗津祇園太鼓保存会の後藤松雄会長は「これま



表彰を受ける栗津祇園太鼓保存会

での活動を認めていただき、感謝している。先輩をはじめ、地域のみなさんのご協力があつてこそ受賞。今後も地域の発展のためであれば、労を惜しまずやっつけていきたい」と、受賞の喜びと今後の抱負を語りました。

今回受賞された団体の活動内容などは、広報大洲で紹介していきます。

### 【受賞団体】

- ▽栗津祇園太鼓保存会（八多喜）
- ▽山鳥坂鎮縄神楽保存会（岩谷）



## 三世代の交流の輪を広げて

共同作業や意見交換などを通じて、世代間の交流を深める第43回三世代交流研修会が1月28日(土)、市内の老人クラブや婦人会、小中学校から210人が参加し、総合福祉センターで開催されました。

調理作業では、餅つきや豚汁、なます、おにぎり作りが行われました。小中学生は、やぐらなどの道具の扱いに戸惑う場面もありましたが、丁寧な指導を受け、笑顔で共同作業を進めていました。



## 実体験で理解を深める

公益財団法人日本盲導犬協会による盲導犬学校キャラバンが1月16日(月)、平小学校体育館で4年生を対象に開催されました。

視覚障がいや盲導犬についてクイズを交えて学習した後、児童らは実際にPR犬「ウィティ」を連れて歩行体験を行いました。堀川優成さんは「不安だったが、とても歩きやすかった」と、盲導犬の安全な誘導に感心していました。



伍代夏子<sup>なつこ</sup>さん「肱川あらし観光大使」に



演歌歌手の伍代夏子さんが新曲「肱川あらし」を発表したことを記念して、市は伍代さんに「肱川あらし観光大使」を委嘱しました。新曲発表会とあわせて委嘱式が1月24日(火)、住民ら約300人が集まった長浜ふれあい会館で開催され、伍代さんと「肱川あらし」を作詞した喜多條忠<sup>ただと</sup>さんが来場しました。

委嘱式で清水市長は「肱川あらしが世界遺産になるよう、曲と一緒に日本中に、また世界にPRしてほしい」と観光大使の盾とたすきを手渡しました。伍代さんは「肱川あらしを全国のみなさんに知っていただけるよう、そして歌が後世に残るよう、心を込めて歌います」と話しました。



(左から) 喜多條さん、伍代さん、清水市長

喜多條さんは「肱川あらしという自然現象は非常にドラマチックで、伍代さんに歌ってほしかった。すばらしい歌になるよう、力を貸してください」とあいさつし、会場からは大きな拍手が湧いていました。

## 水道発展の功績を顕彰

平成28年度生活衛生事業功労者厚生労働大臣賞を受賞した、有限会社内田電気水道設備の代表取締役内田光治<sup>みつはる</sup>さんが1月30日(月)、市長を訪問しました。

この賞は、水道の普及発展に功績があった個人または団体に贈られるもので、内田さんは「市の管工事協同組合が地道に活動してきた結果で、大変うれしい。今後は後継者育成にも力を入れたい」と話しました。



## 学校育ちの野菜で食育

栗津小学校児童が学校菜園で栽培したダイコンを使ったおでんパーティーが1月19日(木)、同校で開催されました。

野菜ソムリエ松本典子<sup>のりこ</sup>さんの指導のもと、学年ごとに分担しておでんとサツマイモごはんを作り、全校児童で食べ、料理を通して食の大切さについて学びました。6年生の奥野史苑<sup>しおん</sup>さんは「小学生生活最後のおでんパーティーを、みんなで楽しんでよかった」と話していました。



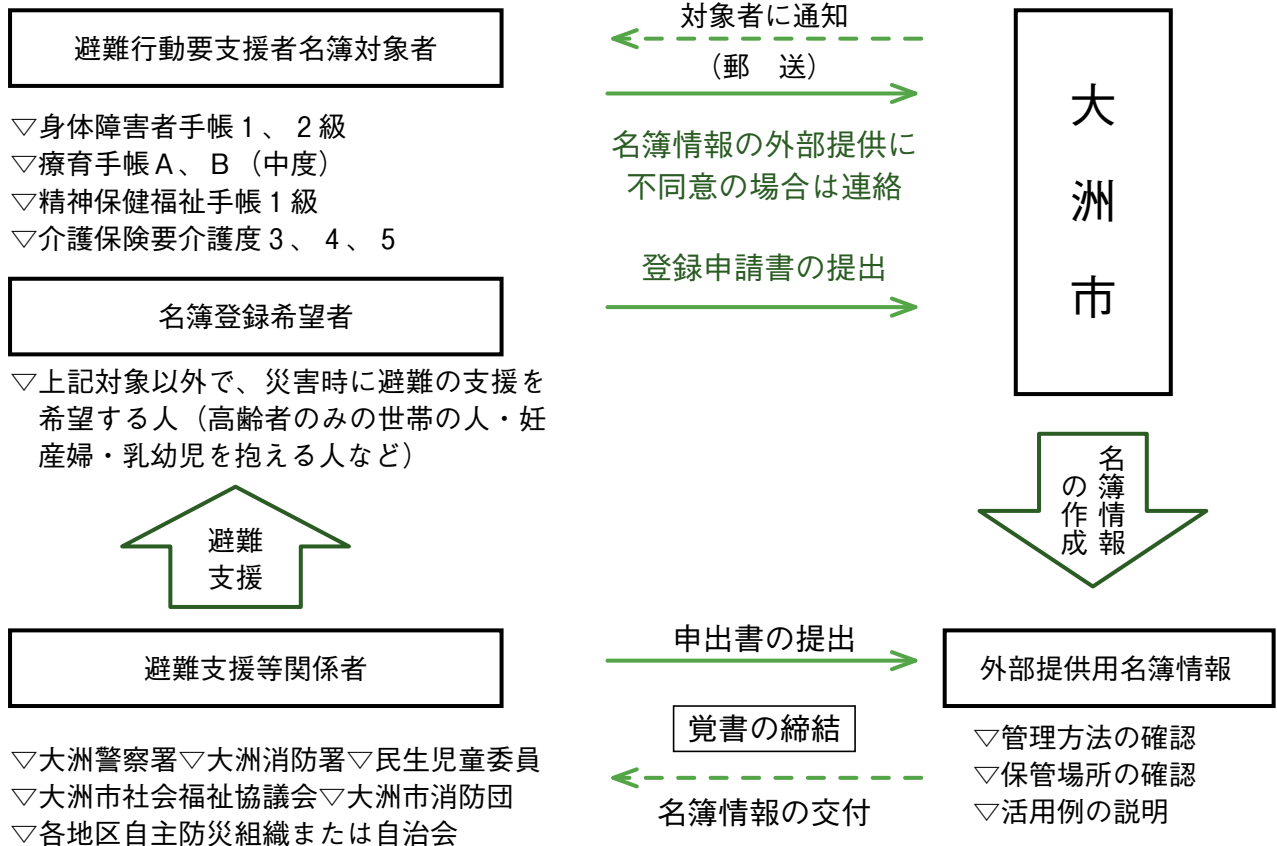
# 自助・共助・公助の支援体制をつくりましょう

大洲市では、東日本大震災、熊本地震などの教訓から、防災の基本的な考え方を明確にし、行政、地域や市民が相互に連携し、災害に強い地域を築いていくために「大洲市災害に強い地域づくり条例」を制定（平成28年9月）しています。

このたび、自助・共助・公助の支援体制づくりの取り組みとして、災害時に自力で避難することが難しいと思われる人（避難行動要支援者）の円滑な避難支援が行えるよう、次のように名簿情報を避難支援等関係者に事前に提供していくこととしますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 避難行動要支援者名簿情報の提供と活用の方法

### 【名簿情報の提供（イメージ）】



### 【名簿情報の活用（取り組み事例）】

	安否確認、避難支援体制の構築	避難行動要支援者の安否確認や、避難の支援を誰がするか事前に相談し、決めておきましょう。
	避難行動要支援者のマップ作成	地区内および行政区内での避難行動要支援者が地図上で把握できるよう、マップにしておきましょう。
	避難支援の訓練	防災訓練のなかで、実際に避難行動要支援者の避難ができるか、避難所までの所要時間の計測などを行いましょう。
	避難支援の個人プランの作成	避難行動要支援者を訪問し、健康状態や緊急時の連絡先などを確認しましょう。

【問い合わせ先】 危機管理課 ☎24-1742

## おおずを食べよう 健やかレシピ Vol.1

## 【シイタケピザ】



## 大洲産シイタケを食べましょう

大洲市は全国有数のシイタケ産地です。シイタケに多く含まれるビタミンDにはカルシウムの吸収を助ける働きがあります。乳製品や小魚、豆腐などの大豆製品と組み合わせて食べると、骨の発育を促し、骨粗鬆症<sup>こつそしょう</sup>予防につながります。また、抗がん作用のある「レンチナン」は、シイタケ特有の成分です。

【準備】シイタケを4枚用意し、汚れを拭いて石づきを取り除いておく。

## シイタケを選ぶ時のポイント

- ▽肉厚でカサの裏が白く、カサが開きすぎているもの
- ▽軸が太く、短いもの

## ウインナーチーズ味

生シイタケ 2枚  
ウインナー 1本(5mm輪切り)  
タマネギ 20g(薄切り)  
ピーマン 20g(千切り)  
ケチャップ 小さじ2  
ピザ用チーズ 5g

シイタケの内側にケチャップを塗り、材料とピザ用チーズをのせる。

## みそマヨ味

生シイタケ 2枚  
長ネギ 20g(斜め薄切り)  
マヨネーズ 小さじ1  
みそ 小さじ1

長ネギをマヨネーズとみそであえ、シイタケの内側にのせる。

**作り方** 220度のオーブンで10分程度焼く。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

## 文化財

高山ニシノミヤ巨石遺跡  
大洲市指定史跡  
個人所有



この遺跡は、大洲城下を見下ろす高山寺山の中腹、標高約300mの高山西地区にあります。高さ4.7m、幅2.3m、厚さ0.6mの巨石の立石<sup>りっせき</sup>で、「石仏」「メンヒル」とも呼ばれています。

この巨石が、いつ、何の目的で建てられたかは全くの謎であり、考古学的な検証を待たねばなりません。古くから信仰の対象となっていたことは事実のようです。

昭和3年、高名な人類学者の鳥居龍蔵<sup>りゅうぞう</sup>博士が視察し、周辺の巨石群などと共に調査が行われています。調査の詳細は伝わっていませんが、この調査がその後の本市の古代史研究に与えた影響は大きく、学史的に重要な遺跡といえます。

(昭和31年9月30日指定)

## 野鳥

アメリカヒドリ  
(亜米利加緋鳥)  
カモ目 カモ科  
全長 48cm



本来は北アメリカ北部で繁殖して、アメリカ中部、メキシコなどで越冬するヒドリガモの仲間です。繁殖地がユーラシア大陸に近いものが、時折西寄りに南下するコースを飛ぶため、日本列島にもやってきます。クリーム色の頭に、目元が緑色で、頬から首にかけてごま塩模様、脇腹がブドウ色です。ヒドリガモと近縁種のため、交雑が起こり、どちらともいえない個体もしばしば確認されています。

矢落川や城山下には毎年、たくさんのヒドリガモがやって来ますが、運が良ければその群れの中で出会うことがあります。整備された河川とともに、いつまでも水鳥たちのやって来る自然豊かな水郷大洲であってほしいと願うばかりです。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

こんにちは。2年間の協力隊生活もあと少しです。最後まで元気でしたので、昨年10月に熱帯熱マラリアにかかってしまいました。今回は恐ろしいマラリアについて、そして1月に開催された「日本祭inカメルーン」について紹介します。

### 熱帯熱マラリア

マラリアは蚊を媒介して感染し、重症化すると死に至ることもある恐ろしい病気です。カメルーンでは、5歳以下の死亡原因の多くがこのマラリアともいわれています。

まさか自分がかかるとは思いませんでした。体のだるさから熱を測ってみると38度5分。下がる気配がなく、意識がもうろうとしてきたので、マラリア検査をしました。自分で指などに針を刺して、検査キットに血をつけるというものです。結果は陽性で、すぐに首都の病院へ。頭痛、高熱、吐き気などの症状が襲ってきました。熱が下がっても肝機能が回復せず、ほぼ一カ月間は寝たきりの療養生活でした。

周りの人の優しさのおかげで回復しましたが、本当に苦しかったです。健康の素晴らしさをあらためて感じる事ができました。

### 日本祭

日本大使館主催で、年に一回首都ヤウンデで日本祭が行われます。今年は隊員から有志を募り、ソーラン節・バンド演奏を行いました。

日本のソーラン節はとても評判が良く、喝采を浴びました。バンド演奏ではカメルーンでも有名なアニメソングを3曲演奏し、私は孫悟空のコスプレをしてドラムを叩きました。結果、大成功でした。最後の最後まで一緒に写真を撮つてと言われ、有名人になった気分になりました。



日本のアニメは世界共通（一番右が梶田さん）

帰国まであと少しです。全力で楽しみながら、悔いのないカメルーン生活を送りたいと思います。

## 大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

春の風が心地よい季節となりました。先日、市内の大洲、喜多、平、久米、平野、新谷小学校の6校の5年生を対象に、地域総合学習の一環として大洲ご当地クイズを開催しました。

小学生には少し難しいクイズもあったようですが、大洲に興味を持って、知って、好きになってほしいと願い、今後も続けていきたいと思えます。

### 【先月号のクイズの解答・解説】

節分の風習のなかで、家に帰るまで無言で、後ろを振り返ってはならないのはなぜでしょうか。

- ① 振り向くと厄が帰ってくるから
- ② 鬼に見つかるから
- ③ 恵方巻と同じでしゃべると運が逃げるから

正解…①

解説…大洲の一部地域では、節分に大豆を街角に置く変わった風習があります。起源を調べてみましたが、詳しいことは分かりませんでした。

南予地方には、同じように十字路に大豆を置く風習が残っている所があるようです。



※今月のクイズの答えは、広報大洲4月号に掲載します。

### 【今月のクイズ】

2017年3月の時点で大洲、喜多、平、久米、平野、新谷小学校の6校の5年生の合計生徒数は約何人でしょうか。

- ① 約150人
- ② 約250人
- ③ 約350人



ポコベン青空小学校